

## 地理・歴史科

教科名	地理・歴史科	科目名	地理B
科目の目標	(1)地理に対する興味・関心を深め、基本的な地理用語を理解する。 (2)地理の学習を通して現代社会についての理解を深め、主体的に関わる態度を身につける。		
履修学年	2年	類型	文系・理系共通
単位数	4単位	履修形態	選択
教科書	新詳地理B(帝国書院)	副教材等	データブックオブ・ザ・ワールド(二宮書店)
			新詳高等地図(帝国書院)

### ①学習の目標

- (1)広い視野を持って地理的事象を系統的・地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。  
(2)地理的な見方・考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

### ②学習内容と授業の進め方

#### 第Ⅰ部 さまざまな地図と地理的技能

各種の地図から地理情報を読み取る力を養う。

#### 第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察

自然環境、資源と産業、村落・都市と生活文化に関連して人間との関係について考える。

#### 第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察

国家規模の地誌の分析を通して、マイクロ・マクロ別に区分し、地理的視点で客観的に考える。

### ③学習に当たっての留意点

- (1)受験に対応するため、基本的な地理用語を理解させると同時に、政治経済や世界史・日本史などの内容にも関連させ、横断的な見方・考え方を身につけさせることを心掛ける。  
(2)センター試験及び各大学の入学試験にも対応するために、内容を精選して授業を実施する。2年生の4単位では受験に十分対応できるよう全領域にわたって学習し、3年生では演習を中心に実施する。

### ④評価の観点

- (1)関心・意欲・態度 地理の楽しさを味わうことができるよう、自ら進んで計画的・意欲的に学習しようとする。  
【関】
- (2)思考・判断 世界の自然環境などを位置や空間的な広がりに着目して地理的事象を見だし、考察することができる。  
【思】
- (3)知識・理解 現代世界の特徴を地球規模で理解し、その知識を身につけている。  
【知】
- (4)資料活用の技能・表現【資】 学習に必要な資料を収集して、役立つ情報を適切にまとめることができる。

### ⑤評価の方法

定期テスト・小テスト等を実施、日常の授業への関心・意欲・態度とあわせて総合的に判断する。

### ⑥授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法など(観点項目を記入)
4	地理情報と地図	現代世界の地図 地図の種類とその利用	・地図から地理情報を読み取ることができるか【資】
	自然環境	世界の地形 世界の気候	・世界の自然環境・生活文化に対して、課題意識を持ち、意欲的に取り組んでいるか。【関】
5	資源と産業	日本の自然の特徴と人々の生活 環境問題	・世界の自然環境などを世界的視野から地域的な相違点・分布に着目し、追求しているか。【思】
6		世界の農林水産業 食料問題	
		世界のエネルギー・鉱産資源 資源・エネルギー問題	
7		世界の工業 第3次産業	・世界の自然環境などに関して、多様性や地域性をとらえる視点や方法を理解し、その知識を身につけているか。【知】

8		世界を結ぶ交通・通信 現代世界の貿易と経済圏	前期中間考査	・資料を活用して、考察の過程や結果をまとめたり、発表したりすることができるか。【資】
	人口、村落・都市	世界の人口 人口問題		・世界の課題に対して、問題意識を持ち、意欲的に取り組んでいるか。【関】
9		村落と都市 都市・居住問題	前期末考査	・課題を世界的視野から地域的な相違点・分布に着目し、追求しているか。【思】
	生活文化、民族・宗教	生活文化 民族と宗教		・世界の課題に関して、多様性をとらえる視点や方法を理解し、その知識を身につけているか。【知】
10		現代世界の国家 民族・領土問題		
	現代世界の諸地域	東アジア 東南アジア 南アジア		・変容する現代世界の諸地域に対して、関心と課題意識を持ち、意欲的に取り組んでいるか。【関】
11			後期中間考査	・諸地域の環境条件、他地域との結びつき、地域に生きる人々の営みなどを多面的・多角的に考察しているか。【思】
12		西アジアと中央アジア 北アフリカとサハラ以南のアフリカ		・事例として取り上げた地域・国・州・大陸の地域の特色を理解しているか。【知】
1		ヨーロッパ		
2		ロシア		
		アングロアメリカ ラテンアメリカ	後期末考査	・資料を活用して、考察の過程や結果をまとめたり、発表したりすることができるか。【資】
3		オセアニア		